

第48号 発行

豊橋市立賀茂小学校

〒441-1101

豊橋市賀茂町字森信24番地

☎(0532)88-0400

# せんだん



## 変わらない心

校庭の河津桜が咲き誇り、一年の締めくくりの時期が来たことを告げています。小学校の課程を終える六年生の皆さん、そして、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

先日のひとのわ集会では、学習や行事、登下校等で日頃お世話になっている地域の方々へ感謝の気持ちを伝えました。五年生が中心となり会を運営しましたが、他の学年の子どもたちも、お世話になっている方々に、自分たちができる精いっぱい感謝の気持ちを伝えたいと、手紙を書いたり、踊りをつけて歌をプレゼントしたりしました。五年生が前に出て踊り、その活動を見守るかのよう大きく手を振り笑顔で歌う六年生を見て、温かい気持ちになりました。

四月、賀茂小学校に一年生が入学すると、六年生をはじめ上級生たちが、優しく親切にめんどうを見てくれます。休み時間には高学年も低学年も入り混じって遊ぶ光景をよく見ます。そんな中で育ってきた子どもたちは、教師が教えなくても、当たり前の下級生のめんどうをよく見ることができるのです。

行事だけでなく日頃の子どもの様子を「子どもは地域の宝」として、

ご家族や地域の皆様に、大切に育てられていることがよくわかります。子どもたちは、素直で人懐こく、学校に来たお客様にも親しく接することができます。休み時間や下校のときに、学級担任ではない教職員にも気軽に話しかけてくれます。

「授業参観、緊張したけど楽しかった。」  
「縄跳びの級が二つ上がったよ。」

放課後子ども教室がある校区市民館まで歩いていく短い間にも、その日のできごとを話してくれたり、しりとりをしたり、楽しいひと時を過ごすことができます。職員室で多くの時間を過ごす私にとっても、子どもたちと話す時間は、とても貴重で、素直な子どもたちと接するだけで、癒しとエネルギーをもらえました。

四月から新しい学校や一つ上の学年へと進んでいく子どもたち。どこに行ってもいくつになっても、変わらず素直で仲間を大切にする心を持ち続けていてほしいと願っています。

最後になりましたが、本年度も、授業や行事、クラブ活動、登下校など多くの場面で保護者や地域の皆様にご支援いただきありがとうございました。子どもたちが安全で健康に活動できるのは、皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

教頭 原口 有利子

### 主体的に学び

### 問題を楽しみながら

### 解決する 賀茂っ子の育成



### こがも 『元気いっぱい 楽しく勉強しよう』

日々の勉強や学校生活、行事など、自分のできることに一生懸命取り組んで、できることがたくさん増えた一年でした。なにごとも、日々の積み重ねと繰り返しを大切に、できるようになるまで根気強く一緒に取り組みました。できたときはみんなで喜びを分かち合えて素敵な時間を過ごすことができました。【朝倉・坂上】



〈みんなで自立活動をしています〉

### 1年 『うれしい♡えがお♡』

4月、どきどきしながら入学してきた1年生ですが、この1年で体も心も大きく成長しました。学級目標に決めた「うれしいえがお」な学級になるように、まわりの人を「うれしいえがお」にできるように、みんなでじっくり考えパワフルに行動できるようになりました。

係活動では、みんなが「うれしいえがお」になるように、ハッピータイムという時間に遊びを計画し、みんなで楽しみました。2年生になっても、この明るさと行動力で、ますます活躍できることを期待しています。【夏目】

〈学習発表会での発表の様子〉



### 2年 『なんでもチャレンジ』

学級目標の「なんでもチャレンジ」の通り、いろいろなことにチャレンジすることができた一年でした。自分がチャレンジしたことを花の形に折った折り紙に書き、掲示する取り組みを続けてきました。友達に褒めてもらったり、友達のできたことから刺激を受けたりして、より多くのことに取り組んでみようという意欲を高めました。特に、勉強面では九九、運動面では縄跳びを学級全体で頑張っていこうという雰囲気生まれ、お互いに切磋琢磨する姿がみられました。3年生になってもチャレンジを続け、さらに成長することを期待しています。【木村】



〈満開のチャレンジフラワー〉

### 3年 『サンキュー』

3年生8名と担任（3年生の9名）で、この一年間力を合わせてがんばっていきましょうと決めました。

初めての学習が多く、覚えることがたくさんありましたが、みんなで楽しみながら学んでいる場面が見られました。それらの一部を学習発表会でおうちの方に見ていただきました。自信をもって発表する姿に成長を感じました。また、西郷小との合同学習を通して、さまざまな体験活動をして賀茂小のよさを再発見する楽しい交流の機会を得ることができました。【飛安】

〈1月の合同学習での記念撮影〉



### 4年 『明るく 元気に 成長あれこれ』

委員会、クラブ活動、野外教育活動、わくわく体験活動、ホタルの飼育…この一年間、明るく元気に活動してきました。自分では気づいていないかもしれませんが、着実に成長してきた4年生。中にはうまくいかなかったこともきっとあることでしょう。野村克也氏の言葉で『失敗と書いて成長と読む』という言葉があります。自分がいちばん成長するときは、失敗を乗り越えたときです。何かに失敗したときは「自分が成長するための経験だ」ととらえて前向きにチャレンジしてほしいと思います。今後も仲間を大切に、学校の中心となる5年生になることを期待しています。 【山本】



〈わくわく体験活動 実験学習〉

### 5年 『楽しい未来にむかって DASH! 』

〈野外教育活動 キャンプファイヤー〉

この一年間、みんなで力を合わせてがんばってきました。野外活動では、班で協力してご飯をつくったり、キャンプファイヤーを思いっきり楽しんだりしました。4年生とともに活動し、また心からの笑顔で楽しむ姿がよかったです。学習発表会では、自分たちでやることを決め、原稿やスライドづくりを協力して行い、わかりやすい発表にするためにはどうしたらいいかを試行錯誤しながら練習しました。本気になったときの子どもたちの取り組みは目を見張るものがあります。目標を決めると一直線にがんばる「DASH!」の姿が見られました。この学級目標のように、楽しい未来を切り開くのはみなさんです。4月からは最高学年として、よりよい賀茂小学校になるように先頭に立って引っ張ってほしいと思います。 【横山】



### 6年 『ONE TEAM~全力・励まし・協力~ 』

「14人で一つのチームになって向かっていく。」

これは、4月に、6年生の子どもたちが言った言葉です。この一年間、子どもたちの年度初めの気持ちは揺らぐことなく、この言葉を体現し続けてきました。「自分たちだからできることをやろう」と挑戦し、最後まで、ONE TEAMでやり遂げることができました。ここまでやり遂げてきた自分と仲間たちに自信と誇りを持ち、次のステージに進んでほしいと思います。 【大高】



〈ONE TEAM でやり遂げた運動会〉

## 令和6年度の予定

4/4	新任式・入学式	7/19	一学期終業式	12/23	二学期終業式
4/5	始業式	9/2	二学期始業式	1/7	三学期始業式
4/20	学校説明会・授業参観	10/5	校区合同運動会	1/22	もちつき会
5/1	ウォークイン賀茂	10/10	就学時健康診断	2/20	授業参観・PTA総会
5/23 24	野外教育活動	11/6	ホタル放流式	2/26	ひとのわ集会
6/13	プール開き	11/16	学習発表会	3/19	卒業証書授与式(予定)
6/15	三世代ふれあい活動	11/29 30	修学旅行	3/24	修了式
6/18	豊橋・学校いのちの日	12/10	マラソン大会	※予定は変更することがあります。	

# 令和5年度 賀茂小学校の教育活動を振り返って

～自己評価・学校関係者評価から～ (一部抜粋)



賀茂小学校は、児童・保護者に対してアンケートを行ったり、評議員のみなさんにご意見をうかがったりして、令和5年度の教育活動を振り返りました。学校評議員会では、さまざまな視点・お立場から、ご指摘等をいただきました。これらの結果を生かして、来年度の取り組みに力を入れていきます。ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

中期目標	重点努力目標 (評価項目)	自己評価	総合評価	達成状況と成果	関係者評価	学校関係者の意見・要望	今後の改善方策 次年度への課題 (★学校関係者評価を受けて)
「わかる、楽しい授業」を基盤に、自ら学ぶ力の育成に努める	学ぶ意欲の育成	B	B	栽培活動などの体験学習は地域の方の協力もあり定着している。問題解決学習に意欲的に取り組む様子が見られた。学習後、子どもが自ら実践に結びつけ、さらに成就感を味わえるよう教師が働きかけたい。	A	体験などを通して見通しのもてる学習は、子どもの意欲や理解が高まってよい。高学年は、教科担任制で専門の教師に教えてもらえるとうよい。	学校だけでなく、家庭と連携しながら学びを進めていくよう努力したい。 規模的に難しい部分があるが、教員の専門教科をいかし、できる範囲で交換授業を取り入れたい。
	学び方の習得	B					
心豊かな子を育てる教育活動を推進する	自己有用感の向上	A	B	道徳の授業で自己有用感を向上させる学習に積極的に取り組むことができた。子どもたちは、家庭・地域から大切にされていることを実感していると感じる。 高学年が挨拶する姿を見て、一緒に挨拶をする低学年が増えた。自分からすすんでできるよう、意識を高めていきたい。	A	縦割り活動により、上級生はまとめる力がつき、下級生は上級生の活動に憧れをもち、よいつながりができている。 「コミュニケーションは挨拶から」と学校・家庭で日々の挨拶を大事にしていきたい。	賀茂の特性を生かし、これからも縦割り活動で子どもたちを育てていく。道徳を中心に、あらゆる機会をとらえて心を育てていくよう努力する。 挨拶ができる子をめざし、特活部を中心に子どもへの働きかけ方を工夫していく。
	生活習慣の基本、挨拶意識の向上	B					
規則正しい生活習慣を養い、心身ともにたくましい子の育成に努める	健康で丈夫な体作りへの意識の向上	A	A	今年度もスポーツトレーナーを招き、学年のめあてに合わせた運動方法を学んだ。授業のはじめの「賀茂っ子ドリル」や休み時間の縄跳びチャレンジも年間通して取り組んでおり、子どもたちの向上意欲が定着してきた。	A	専門の方に教えていただくことはとてもよい。発達段階を踏まえ、系統立てて動きを教えてほしい。 子どもが縄跳びに継続して取り組んでおり、家庭で見ているでもできる技が年々増えている。	体力の向上をめざし、来年度も取り組みを継続させていく。 健康面においても保健調査を利用し、ゲームやSNSのやり過ぎ防止について、家庭と連携し対策を講じていく。
	バランスのとれた基本的な体力の育成	A					
安心して学ぶことができる学校づくりを推進する	職員の安全に対する意識の向上	A	A	子どもたちへの事前指導をしっかりと行い、より臨場感のある避難訓練を実施した。教職員も最も安全な手段で児童を避難させるよう意識した。 協働して学習や行事を行うことでゆとりができて休み時間に子どもと遊ぶ等、ふれ合う時間を大切にする教師が増えた。	A	子どもの引き渡しについて、学校は、家庭と個々に共通理解をしておくとうよい。 時間等の物理的多忙化解消だけでなく、精神的にも多忙化解消ができるとうよい。	安全意識がより高まるよう、来年度も取り組みを続けていく。引き渡しについては、年度当初に家庭との確認を確実に。気象情報を確認し、少しでも早く対応を家庭に連絡するよう努める。
	教職員の多忙化削減	A					

【自己評価 A：十分に達成されている B：概ね達成されている C：あまり達成されていない D：ほとんど達成されていない】

【総合評価 自己評価をもとに 上記のA・B・C・Dで評価】

【関係者評価 A：適切である B：概ね適切である C：あまり適切ではない D：適切とは言えない】



